

JTAA-KANTO 2023

関東支部 会員集会

A CONFERENCE OF JTAA KANTO

2023年5月21日(日)

Zoom 開催

<2022年度の活動報告・2023年度の活動計画>

2022年度

- I. 支部活動の一般報告
- II. 各部会報告
 1. 普及部会
 2. 研修部会
 3. 指導会員部会
 4. 広報部会
 5. TAカレッジ部会
 6. 組織運営部会

2023年度

- I. 支部活動方針
- II. 各部会活動計画
 1. 普及部会
 2. 研修部会
 3. 指導会員部会
 4. 広報部会
 5. TAカレッジ部会
 6. 組織運営部会

「参考」理論講座・各種講座 実績一覧表、理論講座等計画一覧表

<2022年度の収支報告・2023年度の収支予算>

- I. 2022年度収支報告および2023年度収支予算
- II. 貸借対照表
- III. 監査報告

<支部運営委員・監事名簿および機構図>

- I. 支部運営委員・監事・顧問名簿
- II. 2023年度 関東支部機構図

「参考」関東支部県別・資格別会員数

【2022 年度の活動報告】

2. 研修部会

研修会企画・運営の充実の取り組み結果について

- ① 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて全ての研修を Zoom で開催しました。コロナ禍での Zoom による研修は 3 年目を迎え、運営側、そして受講者側も Zoom 環境に習熟しており、円滑な研修を行うことができました。
- ② 理論講座の周知について、HP・メールマガジン・チラシおよび各研修会で告知を行いました。
- ③ 「再決断療法」講座では再決断ワークをライブ (Zoom) でお伝えする新たな取り組みでしたが、受講者のご協力を得ながら混乱なく開催することができました。
- ④ 交流分析理論を深める講座として、発展的 TA をベースとした「自己成長のための発展的 TA」、関係性 TA をベースとした「間主観性の世界」、そして人気の迷宮シリーズである「心理ゲームの迷宮」講座を開催しました。
- ⑤ 特別セミナー「人格適応論 (初級)」では、人格適応論の基礎理論を一から学ぶ講座を開催しました。
- ⑥ 予定していた「TA マインドフルネス」講座は諸事情により中止となりましたが、代替講座として夜間講座「エゴグラム」を開催しました。
- ⑦ 2022 年度の理論講座は、皆さまにご協力をいただき滞りなく開催することができました。

3. 指導会員部会

2022 年度は前年来のコロナ禍の影響を受け、すべての活動が Zoom を活用したリモート開催となりました。テーマも前年から引き続き『指導会員としてのスキル向上・理論研究の推進』とし、活動しました。

『指導会員としてのスキル向上・理論研究の推進』をテーマとしました。

活動内容は次の通りです。

- ① インストラクター定例会を、下記の通り 2 回開催しました。両講座とも 10 時から 13 時までの 3 時間でした。演習を通して自己発見につながる内容で、2 級講座を開催する際に役立つ実践的な学びとなりました。
 - ・7 月 24 日 (押川聖子准教授) テーマ「人生の立場」
 - ・1 月 22 日 (田中真喜子准教授) テーマ「自分が TA で生きる～鎌倉殿の 13 人から考察」両日とも、後半は 14 時から 16 時まで 2 時間で交流会を行いました。7 月 24 日は、普及部会員のみなさんにリーダーとなっただき、「インストラクター・ネットワークの会」について話し合いを行いました。1 月 22 日は、「より良いインストラクションのための発表会」で、各自が実際に行ったインストラクションと皆さんに助言してもらいたい内容をグループ内で発表し、検討会をしました。
- ② インストラクター資格更新研修会を 8 月 13 日 (川合由美子教授) と 2 月 26 日 (田中朋子教授) の 2 回開催いたしました。テーマは「心を耕す交流分析～生活に活かせる交流分析の学び」でした。研修の目的は「1. 事例を使って指導するスキルを研ぐ、2. 交流分析の理論を理解する」でした。グループワークを通して、受講者の自己発見を促す充実した研修会となりました。川合由美子教授、田中朋子教授の個性あふれる講座となりました。

4. 広報部会

ホームページの作成・更新、メールマガジンの発行を継続し、Web 講座や SNS などインターネット・コミュニケーションを活用した会員サービスの充実、イベント管理システムの活用によるペーパーレス化、省力化の推進に寄与する、など支部運営の合理化の一端を担ってきました。また、本部ホームページとの連携を強化しました。

- ① より使いやすい、HP となるよう、早い更新を心掛け常に改善につとめました。
活動ポイント：締切日、早い更新、トップページにスライダー表示、そこからアクセス
- ② 各部会との連携をより強化しその活動を支援。会員の皆様への広報を通じて各部会の活動サポートを続けました。
サポート内容：講座依頼、アンケートなど
- ③ TA カレッジの開設・受講生募集をより使いやすくしカレッジ運営を支え新規会員の増加の寄与を続けました。
活動ポイント：TA カレッジページ作成、講座作成

【2023 年度の活動計画】

2. 研修部会

理論研究活動

『会員の皆さんの理論研究活動に役立つような、研修企画・運営の充実を図ってまいります』

- ① 近年の研修は新型コロナウイルス感染症の影響を受けて全面的に Zoom 講座として開催してきました。今年度は新型コロナの動向には最善の注意を払いながら、Zoom 講座と対面講座の併用開催を予定しています。それぞれのメリットを生かしながら、皆さまが安心して受講できる環境を整え円滑な講座運営を目指します。
- ② 新たな取り組みとして、対面講座の一部をハイブリッド形式講座に変更する検討を進めています。受講者の皆様が好みの受講スタイルを選択できる講座運営を目指します。
- ③ 各講座の案内を早めにお知らせすることで、より多くの方に受講していただけることを目指します。
- ④ 今年度は多様な講師をお迎えして、交流分析の実践的な活用法、交流分析の応用理論、周辺理論、そして毎年恒例になっている人格適応論 (実践的な役立て方) の講座を予定しています。交流分析を身近に感じていただきながら、日常生活に活かせるきっかけをご提供したいと考えています。

3. 指導会員部会

『指導会員としてのスキル向上・理論研究の推進を目指します』

同時に普及部会と連携し、インストラクター・ネットワークの繋がりを強め、活躍の場を増やせるよう支援してまいります。また、准教授、教授を目指す会員の期待にも応えられる研修会を開催してまいります。

- ① インストラクター定例会を年 2 回開催します。インストラクターに必須の知識と能力を再確認し、実践的な学びを通してカレッジ開設や講座運営能力も身につく定例会を開催していきます。
- ② 当面、ZOOM でのリモート研修会運営を基本としつつ、対面での研修会開催を再開できるよう、ハイブリッド形式による受講環境の整備を視野に入れてまいります。
- ③ 本部主催で年 2 回開講されるインストラクター資格更新研修会を運営します。資格更新とともに受講者の理論理解を深められるよう充実した講座運営をしてまいります。

4. 広報部会

ホームページの作成・更新、メールマガジンの発行を継続し、SNS などを活用した会員への情報サービスの充実、かつ非会員への普及促進。イベント管理システムの推進によるペーパーレス化、省力化に寄与する、など支部運営の合理化の一端を担います。また、本部ホームページとの連携を引き続き強化します。

- ① 初めての方が見やすい HP の作成、早い更新を心掛け常に改善につとめます。
- ② 各部会との連携をより強化しその活動を支援。会員の皆様への広報を通じて各部会の活動サポートを続けます。
- ③ TA カレッジの開設・受講生募集をより使いやすくし、カレッジ運営を支え新規会員の増加の支援を続けます。
- ④ メールマガジン内容の充実と定期発行の取り組みを続けます。
- ⑤ 「まんがでわかる交流分析」の続編の編集に協力します。
- ⑥ 会員からの投稿・応募など、会員参加型・双方向型の広報を目指します。
- ⑦ 災害などへの対策として、またスムーズな引き継ぎのため、引き続き委員の複数分担制を進めていきます。
- ⑧ 他の部会の協力を得ながら、TA のニーズのマーケティングを目指します。

【2022 年度の活動報告】

- ④ 長引くコロナ禍のなかりモートの流れはますます進むと考え、Web 講座・申し込み・受講が順調に進むよう、努めました。クレジットカード決算のみの講座も作りました。
- ⑤ 会報内容の充実と定期発行の取り組みを続けました。
- ⑥ 関東支部所有の価値ある文書を活用していただけるよう、電子書籍の研究に取り組みました。
- ⑦ 「まんがでわかる交流分析」の続編「人生の立場の巻」の編集に協力しました。
- ⑧ 会員からの投稿・応募など、会員参加型・双方向型の広報を目指しました。
活動ポイント：川柳、受講レポートのアップ、講座参加者の声をアップ
- ⑨ 災害などへの対策として、またスムーズな引き継ぎのため、引き続き委員の複数分担制を進めていきました。
- ⑩ TA のニーズをマーケティングできませんでした。

5. TA カレッジ部会

《活動内容》

- ・TA カレッジ運用ルールの周知
- ・TA カレッジの運営管理・サポート
- ・TA カレッジ開設希望者への説明会実施、相談、勉強会開催
- ・TA カレッジ受講希望者への各種案内・サポート

《勉強会》（各回 1 時間 30 分） Zoom 開催 無料

【TA カレッジの講師を目指す方のための勉強会】を実施

- | | | | |
|-------|----------------------|-------|--------------------------|
| 第 1 回 | 2022 年 6 月 18 日「運営編」 | 第 3 回 | 2022 年 11 月 12 日「運営編」 |
| 第 2 回 | 2022 年 9 月 17 日「指導編」 | 第 4 回 | 2023 年 3 月 5 日「運営編」「指導編」 |
- (九州支部から参加あり)

《勉強会内容》

- ・運営編 TA カレッジを運営する場合の申請方法、時間構成、集客等について
- ・Zoom 編 講師として Zoom を使う場合の操作、注意点の確認
- ・指導編 2 級テキストを使用し、講座の進め方、説明の仕方についての確認や意見交換

《TA カレッジ主催者ミーティング》

2023 年 2 月 23 日に TA カレッジ主催者ミーティングを開催 14 の TA カレッジが参加

- 【内容】
- ・事務局からの連絡事項
 - ・補講についてのルール確認
 - ・集客のためにどのように TA の周知をしたらよいか、TA カレッジ運営上の課題や提案など
(小グループに分かれての意見交換を実施)

6. 組織運営部会

1) 新規会員確保および指導会員育成の取り組みについて

2021 年度はコロナ禍の影響により、ZOOM による講座開催と認定試験の実施方法の画策により、講座と認定試験開催を継続してました。

2022 年度は、感染防止対策のうえで、講座、認知試験とも一部を除いて、対面開催に復帰をしている。結果として、一定の実績人数を維持することが出来、受講者、主催者ともに充実感のもてるものとなりました。対面開催では、会場費、講師交通費などのコストも生じるものの、受講者の上位資格取得へのモチベーションにもつながる様子が認められています。一方、Zoom 方式による実施も確立することが出来た為、状況に応じて柔軟に運営できることとすることで、講座開催の機会を広げることになっています。

支部主催 2 級資格講座：2 回/年開催（計 19 名）

支部主催 1 級資格講座：2 回/年開催（計 16 名）

【2023 年度の活動計画】

- ⑨ 講座終了後の受講者の負荷を減らすために、アンケートの送信はあらかじめ全員を対象にセットします。出欠が必要な講座（入門講座、資格更新、紹介講座）は、出欠確認が取れてから送信設定します。
- ⑩ 広報部会が行う当日出欠確認入力、1 週間以内で行います。
- ⑪ 一般会員の方に、広報部の活動を理解してもらえるように、HP などの支援をしていただくようにします。
- ⑫ 関東支部で SNS アカウントを取得します（Facebook、ツイッター、インスタグラムなど）。

5. TA カレッジ部会

より多くの TA カレッジが開設されるよう、様々なサポートを進めて参ります。

- ・TA カレッジ運用ルールの周知と運用管理、他支部との連携運用
- ・TA カレッジの運営管理・サポート
- ・TA カレッジ開設希望者への説明会実施、相談、勉強会開催
- ・TA カレッジ受講希望者への各種案内・サポート
- ・交流分析の普及に繋がる発信方法を考える
- ・講師として講義実践の場を提供できるよう、他部会と連携していく

6. 組織運営部会

『会員のメリットを追求し、効率的で効果的な運営を目指します』

1) 資格講座充実の取り組みについて

喫緊の課題である会員確保につながる 2 級・1 級資格講座の受講者増に向けて、対外的な各種講座の企画をしています。また、講座の開催方式については、対面での開催がより深い学びと受講者満足になるため、一部を除いて、ZOOM 方式から対面方式を再開しています。本年度についても、対面開催を基本として受講者満足と次段階への受講へとつながる相乗効果を生むよう計画をしています。

2) 実践活動周知対策の強化について

会員活動報告集への投稿者の拡大と内容充実に取り組むため、年間通じて投稿に向けた活動を支援してまいります。特に、指導会員の育成につながる論文作成に対する準備とすることをねらいとしており、積極的な投稿を促進してまいります。

【2022 年度の活動報告】	【2023 年度の活動計画】
<p>2・1級認定試験：3回/年開催（計72名、東京会場2回、長野会場1回） インストラクター受講資格試験：1回/年開催（計21名） インストラクター養成講座：2回/年開催（計34名）</p> <p>2) 実践活動周知対策の強化について 会員活動報告集第十二集について、会員活動の紹介分の投稿に加え、各種講座の参加報告書や感想文を掲載して発行しています。感想文作成者の紹介を兼ねて開催講座の紹介の場としています。 投稿原稿数：6件 理論講座感想文等：10件</p> <p>3) 社会貢献活動の取組みについて 無償で行う出前講座：3件（53名）および、関東支部事務局より営業案内により受託した受託講座：10件（290名、うち6件は産業カウンセラー協会2日間）を行った。</p> <p>4) 北海道エリアの取組みについて 支部規程の見直しを含めた検討を行ってききましたが、同エリアの会員活動状況の変化や、現在はオンライン活用による地理上の課題を解消するため、従来通りの運用とすることとしました。</p> <p>5) 支部活動の強化と財政改善への取組み ① コロナ禍を契機に運営委員会、副支部長会議、会員集会もZoomによる開催方法を構築し、コスト削減と運営委員会の出席率向上につながっています。また、必要に応じて打ち合わせ、会議を持つことにより、情報共有が密に行えました。 運営委員会 11回開催 副支部長会議 3回開催 ② 支部運営を担う、運営委員に対する規定の活動費を支給再開し、活動環境の整備を行うことが出来ました。また、支部事務局業務を中心的に担う、事務局長の設置により、会員や外部から日常的に寄せられるニーズに応える対応が可能となっています。</p> <p>6) TA心理カウンセラー関東支部勉強会の位置づけの明確化について 2022年度は、関東支部の有資格者有志による事務局グループのなかで、事務局代表を中心に活発な勉強会の場が設けられました。会員の自主的な参画による運営により、多様なニーズに基づく勉強会が生まれ、参加者・主催者双方の充実の場となっています。</p> <p>7) 第45回全国年次大会（東京）開催について 準備段階では、会場とZOOMウェビナー配信によるハイブリッド形式としていましたが、新型コロナウイルスの感染状況の悪化により、100%オンライン開催および録画したもののアーカイブ視聴の形式に変更しました。結果として、会場や長距離移動に伴う感染リスクがなく、また当日の参加が難しい方も後日視聴できるという理由から、多くの参加申し込みを得られ、関東支部と協会本部の収支に貢献することとなりました。</p> <p>8) TA 星空講座プロジェクト発足について 交流分析士2級資格取得者を中心に、勉強の場を求める問い合わせを受けて、夜間の短時間で気軽に参加できる講座を設けました。本講座は基本的な内容をおさらいしたり、気軽に話し合える環境づくりをねらいとしており、運営委員会の各部会を横断して活発な企画を生み出しています。</p> <p>9) 個人情報の取り扱いについて 会員の個人情報の取り扱いに関するルールを再確認し、特にSNSの適切な利用について確認しました。</p>	<p>3) 社会貢献活動の取組みについて 出前講座（公的機関、教育・福祉団体等を対象、無料）および受託講座（一般企業等を対象、有料）を推進し、職場、学校、地域等への普及に取り組みます。受託講座については、継続している委託元に対して、よりニーズにマッチした講座の提供となるよう丁寧なヒアリングを行ってまいります。</p> <p>4) 支部活動の強化と財政維持・改善について ① 前年度は年次大会による収益増加や、運営委員活動費を支給再開するなどの影響があったため、本年度については、四半期ごとに会計収支状況を確認し、適正運営に努めます。 ② 交流分析の普及に向けた支出については計画的に実施します。 ③ 運営委員会、副支部長会議のWeb会議方式(Zoom)での開催を推進し、会場費や交通費の経費節減に努めます。 ④ 発行する冊子や報告集などの電子化閲覧を推進し、印刷費を削減し財務改善に寄与します。 ⑤ 新たな顧客を開拓し、受託講座を増やして収入拡大を推進します。</p> <p>5) TA心理カウンセラー関東支部勉強会の取組み支部活動の強化と財政赤字の改善について TA心理カウンセラー関東支部勉強会の活動に関して、関東支部ホームページによる告知が定着してまいりました。今後は、更なる情報共有の場として充実化を検討しています。また、有資格者に対して情報を周知し、関東支部勉強会として公平かつ適正な運営体制を行うとともに、他支部のTA心理カウンセラー勉強会との相互交流による連携を図ってまいります。</p> <p>6) TA 星空講座プロジェクトについて 2022年度半ばより発足したプロジェクトは、各部会を横断したチームにより、多様な視点の企画と連携による効率化、集客力の向上につながっています。また、クレジットカード決済のみにしたことが参加申し込みの利便性と柔軟な期限の設定を可能とし、徐々に定着してまいりました。 2023年度は、会員外の受講者に対する企画を進め、2級講座受講と新規会員の獲得に取り組んでまいります。</p> <p>7) TAの魅力発信の方策について TAを知らない方々へ魅力を伝えるため、2022年度は現状の把握に着手しています。2023年度は引き続き、課題を設定し、ホームページからの発信を中心に検討を進めてまいります。</p>

2022年度県別紹介講座・出前講座等の内容一覧

2022.4.1～2023.3.31

県別紹介講座	開催日	会場	テーマ	参加人数	時間
	2022/8/6	長野/塩尻市市民交流センター えんぱーく	なりたい自分になる コミュニケーション講座	9	2H
	2022/11/12	神奈川/(リモート講座)	ココロのあり方と心理ゲーム	12	2H
	合 計 (2件)				21

出前講座	開催日	会場	テーマ	参加人数	時間
	2022/4/14	クラシエフーズ会議室	交流分析とは？ ストローク～やりとり分析	20	2H
	2022/7/7	長野県 信濃福祉 救護施設旭寮	快適なやりとり	17	2H
	2022/11/18	特別養護老人ホーム ウェルポート鹿島の郷	自己理解と他者理解 アサーティブな表現を学ぼう	16	3H
	合 計 (3件)				53

受託講座	開催日	会場	テーマ	参加人数	時間
	2022/5/19	クラシエフーズ会議室	やりとり分析・人生の立場	23	2H
	2022/6/16	クラシエフーズ会議室	心理ゲーム・人生脚本	23	2H
	2022/8/5	東海大学附属浦安高等学校 講堂	コミュニケーションスキルの向上	78	1H
	2022/9/13	東海大学(リモート講座)	「人間関係スキル・人間力強化」 ～人はコミュニケーションで成長～	78	4H
	2022/2/19	Zoom(産業カウンセラー協会北関東支部)	交流分析入門	14	6H
	2022/3/5	Zoom(産業カウンセラー協会北関東支部)	交流分析入門	14	6H
	2022/11/5	Zoom(産業カウンセラー協会北関東支部)	交流分析入門	14	6H
	2022/11/13	Zoom(産業カウンセラー協会北関東支部)	交流分析入門	14	6H
	2023/3/11	Zoom(産業カウンセラー協会北関東支部)	交流分析入門	16	6H
	2023/3/18	Zoom(産業カウンセラー協会北関東支部)	交流分析入門	16	6H
合 計 (10件)				290	

2022年度 TAカレッジ開催内容一覧

2022.4.1～2023.3.31

NO.	TAカレッジ名称	講座	期 間	開催日数	受講者数
1	TAカレッジ大倉山	2級	4/16～8/21	6日間	2
2	TAカレッジ藤沢	2級	5/15～8/28	9日間	5
3	TAカレッジ新橋	2級	5/14～9/3	6日間	5
4	TAカレッジ足利	2級	5/31～7/5	6日間	4
5	TAカレッジつくば	2級	6/2～6/29	6日間	2
6	TAカレッジ信州中野	2級	6/26～9/18	7日間	1
7	TAカレッジ塩尻	2級	7/10～9/18	7日間	6
8	TAカレッジ上大岡	2級	7/20～9/113	6日間	1
9	TAカレッジ田町	2級	10/30～3/5	6日間	5
10	TAカレッジ新橋	2級	11/27～3/4	6日間	4
11	TAカレッジ栃木	2級	12/23～3/10	7日間	3
12	TAカレッジつくば	2級	1/11～2/22	6日間	1
13	TAカレッジつくば	2級	3/8～4/26	6日間	1
14	TAカレッジ藤沢	1級	5/14～8/27	11日間	2
15	TAカレッジ田町	1級	6/26～9/4	7日間	5
16	TAカレッジあづみ野	1級	8/17～12/21	6日間	4
17	TAカレッジ田町	1級	11/6～2/26	6日間	5
18	TAカレッジ田町	1級	11/6～2/26	6日間	5
合 計					61

2022年度 理論講座・各種講座 実績一覧表

2022.4.1～2023.3.31

NO.	講 座	期 間	開催形態	受講者	備 考
1	2級講座 前期	8月	集中コース	8	
2	2級講座 後期	2月～3月	集中コース	11	
3	1級講座 前期	6月～8月	土曜コース	10	
4	1級講座 後期	12月～2月	集中コース	6	
5	インストラクター養成講座 前期	5月～7月	zoom + 対面	19	
6	インストラクター養成講座 後期	1月～2月	zoom + 対面	15	
7	1・2級認定試験（東京）	9月	土日曜日	36	1級 12名・2級 24名
8	インストラクター受講資格試験（東京）	11月	日曜日	21	
9	1・2級認定試験（長野）	10月	土日曜日	10	1級 5名・2級 5名
10	1・2級認定試験（東京）	3月	土日曜日	26	1級 8名・2級18名
11	[理論講座] 交流分析、ゲシュタルト療法、そして再決断療法	5月	1回	51	
12	[理論講座] 自己成長のための発展的TA	7月	1回	14	
13	[理論講座] 心理ゲームの迷宮～反復強迫の誘惑～	9月	1回	19	
14	[特別セミナー] 『人格適応論(初級)』 ～基礎理論の学習と自己理解～	11月	2回	40	延べ人数
15	[夜間講座] エゴグラム	11月	1回	13	
16	[理論講座] 間主観性の世界	12月	1回	14	
17	インストラクター定例会	7月・1月	年2回	30	7月:18名・1月:12名
18	交流分析 入門講座	5・7・9・10 ・12・2月	年6回	30	
19	県別紹介講座	4月～3月		13	1県
20	出前講座	4月～3月		53	3件
21	受託講座	10月～12月		290	10件
22	絵本「空飛ぶライオン」から考えるドライバーと生き方	12月		6	
23	TA仲間で集まる歴史好き会	12月		2	
24	集まれ2級資格保持者 雑談気晴らし会	12月		2	
25	集まれ1級資格保持者 雑談気晴らし会	12月		2	
26	集まれインストラクター資格保持者 雑談気晴らし会	12月		3	
27	星空講座「TAショートセミナー」	1月～3月	1回	26	1月6名・2月10名・3月10名
28	星空講座「2級思い出しナイト」	12月～3月	1回	13	1月5名・2月4名・3月4名
29	星空講座「おしゃべりTAないと」	12月～3月	1回	17	1月7名・2月4名・3月6名
30	星空講座「歴史とTA」	12月～3月	1回	13	1月7名・2月3名・3月3名
	合 計			813	
参考	インストラクター資格更新研修会	8月・2月	(本部主催)		8月:24名 2月:35名

2023 年度 理論講座等計画一覧表

2023 年 5 月 16 日現在

開催日時	研 修・講 座	ポイント
5月21日(日) 13:00~16:00	理論講座:「TAの魅力とは・・・」(Zoom) ~TAとの出会い、いま想うこと、そして未来への展望~ 講 師:白井 幸子 先生 ルーテル学院大学院名誉教授	1.0
6月25日(日) 10:00~16:00	理論講座:「TA プラクティス~実践からマインドフルネスへ~」 (Zoom) 講 師:交流分析士准教授 井手之上 修	1.0
7月22日(土) 10:00~16:00	理論講座:「アタッチメント(愛着)と交流分析」(仮題)(対面式) 講 師:矢野 裕一 先生	1.0
7月23日(日) 10:00~16:00	★インストラクター定例会 (Zoom) 内 容:「人生脚本」 講 師:交流分析士准教授 伊藤 順一	1.0
8月12日(土) 10:00~16:00	★インストラクター資格更新研修会【本部主催】 内 容:「時間の構造化」 講 師:交流分析士教授 中嶋 宗一 (3年に1回必須)	2.0
12月16日(土) 10:00~16:00	理論講座:「調整中」(Zoom) 講 師:交流分析士教授 川合 由美子	1.0
1月20日(土) 10:00~16:00	理論講座:「調整中」(Zoom) 講 師:江花 昭一 先生 神奈川大学保健管理センター長	1.0
1月21日(日) 10:00~16:00	★インストラクター定例会 内 容:「企画中」 講 師: 調整中	1.0
2月25日(日) 10:00~16:00	★インストラクター資格更新研修会【本部主催】 内 容:「時間の構造化」 講 師:交流分析士教授 田中 朋子 (3年に1回必須) ※ 8/12と同じ内容です。8/12に受講済みで再度受講する場合 のポイントは「1.0」となります。	2.0
特 別 セ ミ ナ ー		
11月11日(土) 11月12日(日) 10:00~16:00	講座:「人格適応論(実践的な役立て方)」(仮題)(Zoom) 講師:鈴木 佳子先生	各1.0

※ 受講証は発行いたしません。(出席簿と受講者各自の管理)

2022年度収支報告 および 2023年度収支予算 比較表

	(2022年度実績)	(2023年度予算)
収入総額	13,858千円	13,770千円
支出総額	13,545千円	13,629千円
収支差額	313千円	141千円

I. 収支明細表

(単位:千円・%)

	2021年度	2022年度				2023年度	備 考
	実績額	予算額	決算額	予算差異	予算対比	予算額	
【収入の部】							
1. 割戻収入	1,997	2,140	1,820	-320	85.0%	2,120	年会費戻 @2,000
2. 事業収入	12,169	9,879	11,441	1,562	115.8%	11,650	
①講座受講料	6,972	5,579	6,746	1,167	120.9%	7,031	資格講座
②研修受講料	1,597	1,429	1,863	434	130.4%	1,550	各研修会 他
③認定受講料	3,453	2,871	2,669	-202	93.0%	3,069	認定試験
④TA資料収入	147	0	163	163	0.0%	0	書籍等 斡旋販売
⑤諸活動収入	0	0	0	0	0.0%	0	
3. 寄附金受入	0	0	0	0	0.0%	0	
4. 会員集会収入	0	0	568	568	0.0%	0	
5. 雑収入	6	0	29	29	0.0%	0	
6. その他収入	0	0	0	0	-	0	
当期収入合計	14,172	12,019	13,858	1,839	115.3%	13,770	
【支出の部】							
1. 事業活動費	6,272	5,601	7,209	1,608	128.7%	6,013	
①講座運営費	4,152	3,065	4,025	960	131.3%	3,175	会場使用料
②研修運営費	887	751	1,191	440	158.6%	912	講師料
③認定講座費	503	1,120	1,042	-78	93.0%	1,120	資料印刷費 他
④TA資料費	712	365	958	593	0.0%	365	本部仕入 支部作成費
⑤諸活動費	0	0	0	0	0.0%	0	ストライプジャパン、クレジット手数料
⑥会員集会費	0	0	-7	-7	#DIV/0!	141	会場使用料 資料費
⑦広報活動費	18	300	0	-300	0.0%	300	HP、メルマガ、案内 他
2. 事業管理費	5,822	6,049	6,336	287	104.7%	7,266	
①人件費	2,206	2,503	2,993	490	119.6%	3,500	事務職員給与 他
②会議費	39	20	34	14	170.0%	20	運営委員会 他
③旅費交通費	483	306	593	287	193.8%	569	
④通信運搬費	464	264	263	-1	99.6%	264	
⑤消耗品費	263	100	36	-64	0.0%	100	
⑥印刷費	48	100	53	-47	53.0%	100	チラシ 他
⑦水道光熱費	255	243	256	13	105.3%	250	
⑧賃借料	1,213	1,213	1,286	73	106.0%	1,213	事務所賃料 他
⑨備品費	49	300	48	-252	16.0%	250	
⑩雑費	802	1,000	774	-226	77.4%	1,000	リース料 振込手数料 他
3. 寄附金支出	0	0	0	0	0.0%	0	
4. その他支出	342	260	0	-260	0.0%	350	納税引当金
当期支出合計	12,436	11,910	13,545	1,635	113.7%	13,629	
当期収支差額	1,736	109	313	204	-	141	
前期繰越額	8,434	10,170	10,170	0	100.0%	10,483	2022年度より
次期繰越額	10,170	8,311	10,483	2,172	90.8%	10,624	2024年度へ

※2022年度の決算額は税金計上前の数字を示す。

貸借対照表
(2023年03月31日現在)

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
現金	5	預り金	67
普通預金	9,183	源泉所得税	67
郵便振替預金	894	小計	67
保証金	468	正味財産の部	
		前期繰越正味財産	10,171
		当期正味財産増加額	312
		小計	10,483
合計	10,550	合計	10,550

上記の通り、報告します。

2023年4月22日

関東支部・支部長

富岡 達也



監査報告

関東支部・支部長 富岡 達也様

2022年度における当支部の収支決算を監査したところ、適正に処理されており、公正にして妥当なものと認めます。

2023年4月22日

監事

渡部 達巳



監事

熊本 頼夫



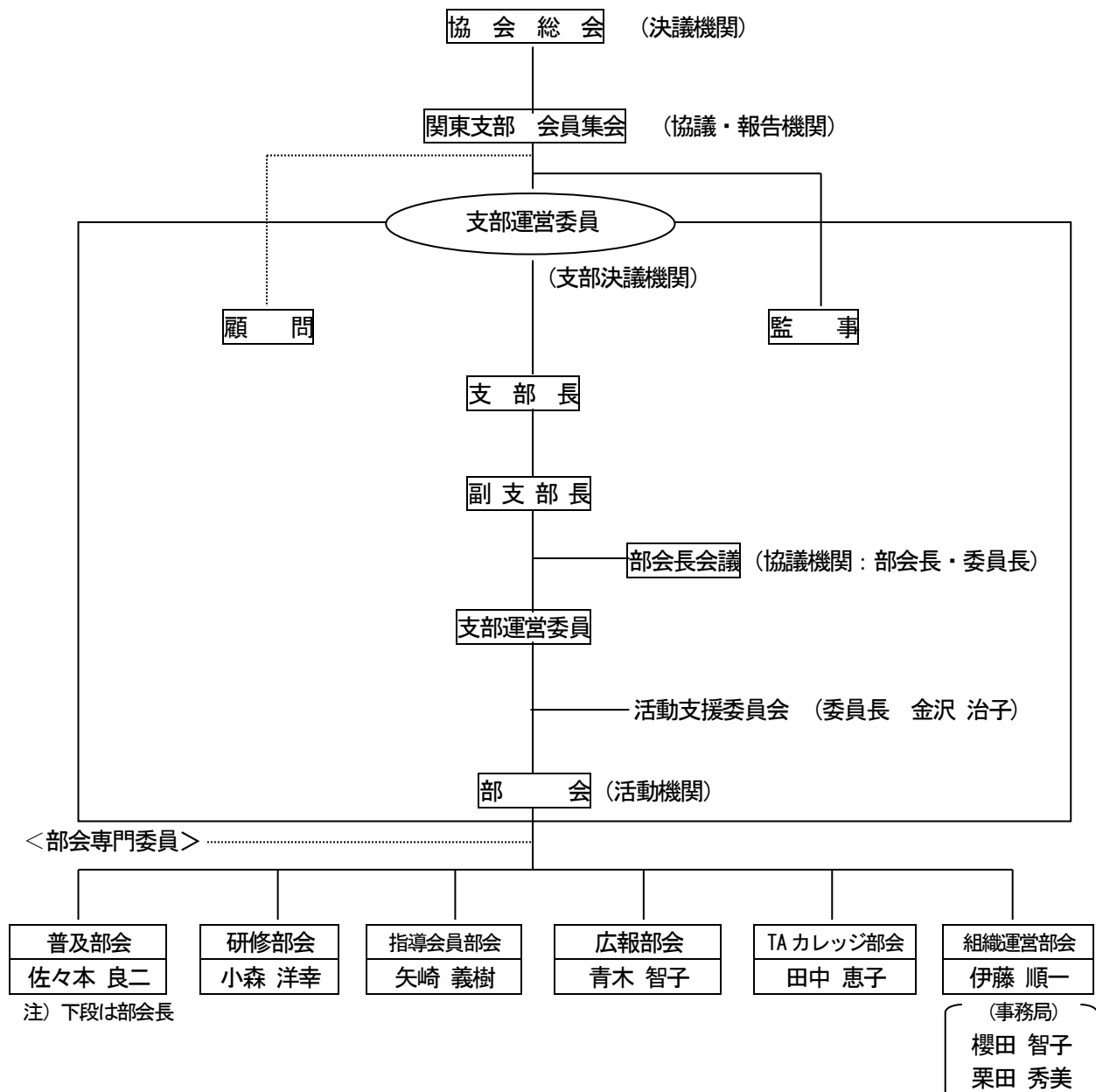
支部 運営委員 ・ 監事 ・ 顧問 名簿

【任 期 (2年間)】 2022年4月1日から2023年3月31日

【執行体制】 支部長 (富岡達也) 副支部長 (部会長兼務) 代表監事 (渡部達巳)

<運営委員>	相原悦子	青木智子	新井仁子	五十嵐信博	伊藤順一	上村健一郎
	宇野 浩	占部富美恵	金沢治子	小森洋幸	佐々本良二	田中恵子
	田中真喜子	富岡達也	冨田幸枝	坂東史重	丸山昌志	矢崎義樹
	宮崎美紀	山田聡美				20名
<監 事>	渡部達巳	熊本頼夫				2名
<顧 問>	小川正治 (教授)	小林雅美 (教授)	下平久美子 (教授)			3名
(本部役員)	理事：伊藤順一	富岡達也	監事：井手之上 修			

2023年度 関東支部 機構図



関東支部 県別 資格別 会員数

1. 資格別会員数

	教授	准教授	インストラクター	1 級	2 級	会 員	合 計
東京都	2	4	68	109	89	20	292
	2	5	68	112	70	26	289
神奈川県	1	5	66	95	64	17	248
	1	5	66	91	68	15	256
千葉県	1	1	28	22	18	6	76
	1	1	27	22	20	5	87
埼玉県		0	23	21	13	5	62
		1	20	22	13	7	66
茨城県			10	15	18	1	44
			10	16	13	1	50
群馬県		1	7	8	11	2	29
		1	7	8	11	1	41
栃木県			12	24	13	3	52
			10	24	12	2	49
山梨県		2	5	13	6	2	28
		2	4	13	5	2	26
長野県		1	42	63	41	9	156
		1	36	65	44	14	173
計	4	14	261	370	273	65	987
	4	16	248	373	256	73	970
北海道			10	21	6	4	41
			10	22	7	5	54
合 計	4	14	271	391	279	69	1,028
	4	16	258	395	263	78	1,014

注) 上段:2023年3月 現在

下段:2022年3月 現在

2. TAカレッジ・TA子育て支援士・TA心理カウンセラー

	TAカレッジ	TA子育て支援士	TA心理カウンセラー		TAカレッジ	TA子育て支援士	TA心理カウンセラー
東京都	7	6	12	栃木県	2	2	3
	6	6	11		2	2	3
神奈川県	7	5	11	山梨県	0	1	0
	7	7	12		0	0	0
千葉県	5	5	5	長野県	7	20	17
	3	6	5		7	19	16
埼玉県	3	1	1	計	35	42	53
	3	1	1		32	43	52
茨城県	4	1	2	北海道	4	2	1
	4	1	2		4	2	1
群馬県	0	1	2	合 計	39	44	54
	0	1	2		36	45	53

注) 上段:2023年3月 現在

下段:2022年3月 現在